

手引き

目的や意図に応じて書く！読書感想文編

一 『読書感想文』って？

- ・自分が感じたことや考えたことを自分の言葉で書いた文章を感想文と言います。なかでも、「読書をして書いた感想文を読書感想文といい、一般的に「感想文」といえば、「読書感想文」のことを指します。

理解の道すじ

- ・読書感想文を書くことを通して、その本を詳しく、想像豊かに読むことによって、自分を見つめることができます。読書を通じていろいろな知識や知恵や経験などを自分のものにするには、自分の人生を豊かにすることに繋がります。

二 『読書感想文』を書くポイントと手順

ポイント

- ・読書をして心に残ったことや感動したことについて、深く追求し、「自分にしか書けないことをだれにでも分かるように書く」ことが感想文を書くポイントです。
- ・自分にしか書けない文章を書くには、「どこが」「なぜ」「どうして」といった問いを自分に投げかけて、自分を見つめることが大切です。

《自分を見つめる問いの例》

- ・作品の主題（テーマ）について自分はどうか考えたか。
- ・登場人物の生き方や考え方について自分はどう思ったか。
- ・自分の生活や考えと比べて、自分ならばどうするか。
- ・自分の経験や考えと、似ていたり異なっていたりすることはないか。
- ・作品を読んで、新たな知識や考えをもったか。

《書き出しや組み立てを工夫する》

- ・魅力ある冒頭文を書く。
- ・書き出しと結びに同じ内容や表現を用いて対応させる。

など

手順

本を選ぶ。

印象に残った表現や心に残る部分に付せんをはりながら読む。付せんをはった部分を手がかりに、印象に残った理由や心に残った理由を考え、文章にする。

登場人物の経験と自分の経験とを比較したり、見聞きしたことや調べたことを利用して書いてある情景を理解したりして考えを深め、文章にする。

構成や表現を工夫して書く。

ステップ1

感想文ってどんなもの？

何のために書くの？

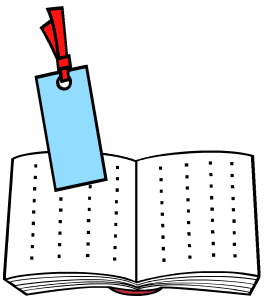
どんなことに気を付けて書けばいいの？

ステップ2

どんな力が必要なの？

心を伝える感想文が書ける！

- ・読書で自分を見つめ、知識を広げて人生を豊かにできる！



《参考にしよう》

- 「学習プリント（読むこと）手引き」
- 「表現の工夫に強くなる！」
- 「学習プリント（読むこと）手引き」
- 「文章の構成に強くなる！」